

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 豊橋市社会福祉協議会

令和4年度事業報告書目次

1. 令和4年度の事業概要と重点的取り組み	2 ページ
2. 理事会、評議員会、監事会	4 ページ
3. 重点事業	
(1)福祉相談サポートセンターの運営	5 ページ
(2)基幹型地域包括支援センターの運営	8 ページ
(3)成年後見支援センターの運営	16 ページ
(4)日常生活自立支援事業の実施	18 ページ
(5)地域たすけあい事業の実施	19 ページ
(6)民生委員・児童委員活動の推進	20 ページ
(7)地域福祉サービスセンター事業	21 ページ
(8)相談事業	22 ページ
(9)福祉資金の貸付等	24 ページ
(10)生活困窮者自立相談支援	25 ページ
(11)子どもの貧困対策に向けた取り組み	25 ページ
(12)介護予防事業の実施	26 ページ
(13)ボランティア活動の振興	29 ページ
(14)福祉教育の推進	36 ページ
(15)福祉人材バンク事業の推進	39 ページ
(16)とよはしファミリー・サポート・センターの運営	41 ページ
(17)豊橋市つどいの広場の運営	42 ページ
(18)在宅福祉サービスの提供	44 ページ
(19)災害時要支援者支援体制の構築	45 ページ
4. 一般事業	
(1)児童・母子福祉事業	46 ページ
(2)福祉教育振興基金助成事業	46 ページ
(3)高齢者福祉事業	47 ページ
(4)障害者（児）福祉事業	49 ページ
(5)校区社会福祉協議会の育成指導	50 ページ
(6)施設の管理及び運営	50 ページ
(7)啓発及び広報活動	53 ページ
(8)共同募金運動への協力	54 ページ
(9)諸団体への助成	57 ページ
(10)本会社会福祉事業等への寄付、寄贈	57 ページ
(11)会費制度	58 ページ

1. 令和4年度の事業概要と重点的取り組み

(1)事業概要

令和4年度は、豊橋市地域福祉活動計画（第2期）並びにボランティア活動推進計画（第4版）の2年目として、令和3年度に引き続き、豊橋市地域福祉活動計画の基本理念「全ての人が関心を持って、お互いに支え合い、いきいきと暮らせる地域社会の実現」のもと、3つの基本目標「支え合いの社会づくりに向けた市民意識の醸成と担い手づくり」「安全・安心に暮らせる地域づくり」「分野を超えて包括的に地域を支援する仕組みづくり」を視点として各種事業に取り組みました。

重点的取り組みでは、上記視点を踏まえ、昨年度に取り組んだ新規・拡充事業を中心に各事業の推進に努めるとともに、引き続き新型コロナウイルス感染症予防の観点から、関係機関と情報共有・協議することにより、高齢者虐待防止研修会や介護保険関係事業者等連絡会全体会・研修会等の動画配信、「障害者はたちのつどい」のライブ配信、児童・生徒の夏休み福祉体験学習の代替事業の実施など、その時点に即した事業実施に取り組みました。

そして、新型コロナウイルス感染症の経済的影響を踏まえて令和2年3月25日より始まった生活福祉資金特例貸付についても令和4年9月30日まで受付対応を行い、休業や失業等により収入が減少した世帯等の生計維持、生活再建を支援しました。

（特例貸付累計 … 緊急小口資金 受付 4,017件 決定 3,705件 725,735,000円
総合支援資金 受付 2,745件 決定 2,538件 1,371,689,000円）

(2)重点的取り組み

①福祉各分野の横断的な広報による地域福祉啓発

横断的な広報・啓発推進のため広報調整会議及び広報調整会議ワーキンググループを設置し、市民・事業者等に向けた広報のあり方や方法について検討するとともに、広報体制の見直しや出前講座などの広報メニューの開発に取り組んだ。

1) 広報調整会議・広報調整会議ワーキンググループの開催

区 分	令和4年度
広報調整会議	全6回
広報調整会議ワーキンググループ	全6回

②マスコットキャラクターによるPR

ボランティアセンター公式マスコットキャラクター「あいコアちゃん」グッズを作成し、会議やイベント時に配布する等、ボランティア活動啓発に取り組んだ。

③デジタルコンテンツの活用による学習機会の充実

福祉学習におけるデジタルコンテンツの活用や体験学習用の動画活用について継続して検討するとともに、映像資料第一弾として福祉教室事前学習用DVDを作成・配布し、学校における福祉学習が円滑に実施できるように支援した。

④マッチングアプリ等を活用したボランティアへの参加促進

主だったSNSなどの課題や留意点について洗い出し、活用媒体について検討した。

⑤男性シニア層の地域活動参加支援

地域活動に不慣れな男性の参加促進を目的に、男性シニア層を対象として料理講習会等を中心とした仲間づくり講座を実施した。

⑥情報通信技術(ICT)等を活用した見守りに関する情報収集と検討

認知症が原因で行方不明となる高齢者の見守りや早期発見を目的に、情報通信技術を活用しモデル的な実施を試みたが、明確な効果を確認できず、再度情報収集と検討を行った。

⑦災害ボランティアセンターと福祉施設との連携強化

豊橋市と共催で実施する災害ボランティアコーディネーター養成講座へ、豊橋市と災害時における要配慮者の受入協定を締結している福祉施設(法人)や連合愛知豊橋地域協議会組合員の参加を促し、災害ボランティアセンターの役割周知や理解促進について情報提供を行った。

⑧福祉避難所機能の強化

豊橋市と連携し地震等の災害発生を想定した福祉避難所開設に関する訓練を実施した。

⑨災害時の対応等に関わる福祉事業者への情報提供、連携強化

豊橋市介護保険関係事業者等連絡会の研修やケアマネジャーの茶話会等を通じて、地震災害や感染症対応に資する情報提供を行った。

⑩大学との協働による学生の福祉活動への参加促進

豊橋創造大学カリキュラムに参加し、学生に対する福祉活動の啓発を行うとともに、とよはしボランティアネットワークが実施するイベントへの参加促進について取り組んだ。

⑪市内の社会福祉法人の公益的な取り組みに関する調査・情報収集・意見交換

市内社会福祉法人の公益的取組実施状況等に関する現状把握のためのアンケート調査結果を各社会福祉法人に報告し、意見交換会を開催した。

⑫住民による新たな地域活動への財源支援の検討

地域福祉活動に対する効果的な財源支援についての検討し、福祉活動推進助成金地域活動支援事業を開始した。

2. 理事会、評議員会、監事会

(1)理事会

- ①第199回理事会 令和4年6月8日(水) 総合福祉センターあいトピア
議事 1)令和3年度事業報告について
2)令和3年度歳入歳出決算について
3)社会福祉充実計画について
4)規程・規則の改正について
5)評議員候補者の推薦について
6)役員(理事・監事)候補者の推薦について
7)評議員選任・解任委員会の委員の選任について
8)評議員会の招集について
- ②第200回理事会 令和5年1月23日(月) 決議の省略
議事 1)規則の改正について
2)評議員候補者の推薦について
3)第三者委員の選任及び委嘱について
4)評議員会の招集について
- ③第201回理事会 令和5年3月23日(木) 決議の省略
議事 1)令和4年度補正予算[第1回]について
2)令和5年度事業計画について
3)令和5年度歳入歳出予算について

(2)評議員会

- ①第173回評議員会 令和4年6月23日(木) 総合福祉センターあいトピア
議事 1)令和3年度事業報告について
2)令和3年度歳入歳出決算について
3)社会福祉充実計画について
4)役員(理事・監事)の選任について
- ②第174回評議員会 令和5年3月27日(月) 総合福祉センターあいトピア
議事 1)令和4年度補正予算[第1回]について
2)令和5年度事業計画について
3)令和5年度歳入歳出予算について

(3)監事会

- ①令和4年6月2日(木) 総合福祉センターあいトピア
議事 1)令和3年度事業報告について
2)令和3年度歳入歳出決算について

(4)評議員選任・解任委員会

- ①令和4年6月8日(水) 総合福祉センターあいトピア
②令和5年3月23日(木) 総合福祉センターあいトピア

3. 重点事業

(1)福祉相談サポートセンターの運営（豊橋市より受託）

福祉相談サポートセンターの運営を豊橋市より受託し、既存の支援制度では対応困難な多様化・複雑化した支援ニーズに対応するための包括的相談支援体制の構築と相談支援事業を、社会福祉士を配置して行った。

①相談件数及び主な相談内容等

1)相談件数（件数）

相談経路	令和4年度	令和3年度	比較
地域包括支援センター	44	35	9
本人・家族・知人等	33	23	10
行政（国、愛知県、豊橋市）	16	9	7
社協内他部署	9	5	4
障害者相談支援事業所	8	11	△3
居宅介護支援事業所	7	17	△10
医療機関	5	7	△2
民生委員・児童委員	2	3	△1
自治会	1	0	1
金融機関	1	0	1
合計	126	110	△16

2)主な相談内容

- ・8050問題、引きこもり等世帯
- ・社会的孤立によりSOSの発信ができない世帯や個人
- ・世帯員ごとに生活課題があり、家族内で生活課題を解決できない世帯
- ・自己放任（セルフネグレクト）により心身の健康が脅かされ孤立した世帯や個人
- ・福祉サービスや金銭管理等の支援が必要と思われるが利用していない世帯や個人
- ・親亡き後の障害者支援
- ・相談先が分からない市民や相談支援機関からの問い合わせ
- ・生活困窮者等への支援制度（各種給付金、フードバンク）の問い合わせ

②受け付けた相談のうち、支援を行った世帯及び人数

1)令和4年度中に福祉相談サポートセンターによる支援を行った世帯及び人数

- ・81世帯 85名

2)多機関連携によって世帯の生活課題等を解決するため、関係機関によるチーム会議を開催した。

区分	令和4年度	令和3年度	比較
開催回数	42	44	△2

3) 関係機関の役割分担と支援方針を明確にするための支援プランを作成した。

- ・支援プラン数 16件

4) 受け付けた相談への支援内容と年間支援回数（回）

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
本人宅訪問	340	397	△57
本人との同行支援	103	106	△3
多機関との連絡調整	1,318	1,621	△303
本人との連絡調整	989	568	421

③市内の相談支援機関との連携や情報共有、広報啓発

1) 支援に対する現状認識の共有や支援方針の検討を目的とした取り組みへの参加

- ・地域包括支援センターの地域ケア会議（個別地域ケア会議） 1件
- ・高齢者虐待防止のネットワークミーティング 2件

2) 研修・事例検討等を目的とした取り組みへの参加

- ・豊橋市生活困窮者自立支援事業調整会議 令和4年5月11日
- ・豊橋市こども・若者地域支援協議会実務者会議 令和4年10月28日
- ・豊橋市子ども若者支援地域協議会個別検討会議

令和4年6月9日、12月8日、令和5年3月9日

3) 事業紹介・啓発を目的とした取り組み

- ・特定非営利活動法人への事業説明 2法人
- ・障害者福祉サービス事業所への事業説明
相談支援事業所 14事業所、就労移行支援事業所 1事業所
- ・医療相談員の配置されている急性期医療機関への事業説明 1医療機関
- ・中高年障害者の就職面接説明会inつつじが丘への参加 令和4年8月25日
- ・中高年障害者の就職面接説明会in前畑町への参加 令和4年12月22日

4) 市内の福祉保健関係者等の顔の見える関係づくり

- ・包括的支援のための人材育成研修 中級者研修の開催 令和4年12月22日
- ・子どもの居場所づくりネットワーク会議への参加（不定期）
- ・生活支援コーディネーター会への参加（毎月1回）
- ・地域づくり事業検討ワーキングへの参加（不定期）

④重層的支援体制整備事業に向けた取り組み

1) 相談支援包括化推進会議の開催

既存の相談支援等の取り組みを生かしつつ、地域住民の多様化・複雑化した支援ニーズに対する包括的支援体制の整備を進めるため、事業に係る行政等の管理職を中心とした推進会議と、相談業務に従事する相談員を中心とした相談員会議を設置して開催した。

区 分	開催回数 (回)
相談支援包括化推進会議 (推進会議)	2
相談支援包括化推進会議 (相談員会議)	5

⑤参加支援事業 (新たな社会資源への取り組み)

参加支援事業とは、ひきこもりなどを理由に社会との繋がりを失った方を対象として社会との繋がりを回復する事業です。利用基準に該当しない方を、障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業所で一定期間(概ね2か月)就労してもらい、本人の特性を見極めたり、趣味や特技のある方をボランティア活動に繋げるなどを新たな支援事業として取り組んだ。

- ・就労継続支援事業B型を活用した取り組み 3件
- ・とよはしボランティアネットワーク加入団体を活用した取り組み 1件

⑥地域づくり (地域の活動支援)

多様な地域づくりが生まれやすい環境整備を目的に、各種活動支援や勉強会を開催した。

1) 各種活動支援

- ・子どもの居場所づくり (子ども食堂) の開設相談 1件
- ・子ども食堂に対する各種助成金申請の支援 7件
- ・王将フードサービス夏休み「お子様弁当無料配布」の支援 640食
- ・王将フードサービス冬休み「お子様弁当無料配布」の支援 599食
- ・王将フードサービス春休み「お子様弁当無料配布」の支援 607食

2) 学習会の開催

- ・『地域共生社会における子ども食堂の役割と今後の姿』
(つつじが丘地区民生委員協議会) 令和5年1月12日
- ・『地域共生社会における子ども食堂の役割と今後の姿 (新型コロナウイルス感染症流行下での取り組み) 』 (大清水校区地域ケア会議) 令和5年1月21日

(2)基幹型地域包括支援センターの運営（豊橋市より受託）

保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員、認知症地域支援推進員を配置し、包括的な高齢者支援を実施した。

- ・豊橋市中央地域包括支援センター（基幹型・総合福祉センターあいつピア内）
- ・豊橋市東部地域包括支援センター（基幹型・つつじが丘地域福祉センター内）
- ・豊橋市南部地域包括支援センター（基幹型・大清水地域福祉センター内）

①介護予防ケアマネジメント事業

1) 要支援認定者及び総合事業対象者の計画作成、サービス提供、評価（件数）

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
中 央	2,625	2,745	△120
東 部	3,606	3,632	△26
南 部	4,815	4,746	69
延べ件数	11,046	11,123	△77

②総合相談・支援事業

1) 相談業務（件数）

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較	
中 央	訪 問	1,478	1,040	438
	相 談	2,661	2,647	14
	連 携	3,512	2,709	803
	合 計	7,651	6,396	1,255
東 部	訪 問	2,210	1,425	785
	相 談	5,320	4,914	406
	連 携	4,724	4,477	247
	合 計	12,254	10,816	1,438
南 部	訪 問	2,980	3,012	△32
	相 談	2,580	2,382	198
	連 携	5,368	5,615	△247
	合 計	10,928	11,009	△81
延べ件数	30,833	28,221	2,612	

2) 介護予防普及啓発の実施

自治会・老人クラブを始めとする地縁組織などに出向き、介護保険制度や介護予防の啓発、講座などを実施した。※実績は件数。カッコ内は出前講座の実績

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
中 央	87 (13)	84 (25)	3 (△12)
東 部	106 (16)	89 (19)	17 (△3)
南 部	117 (40)	106 (30)	11 (10)
延べ件数	310 (69)	279 (74)	31 (△5)

③包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

主治医、介護支援専門員等との多職種協働や、地域の関係機関との連携により、包括的・継続的なケアマネジメントを実現するための後方支援を行った。

1) 地域ケア会議の開催

個別課題の検討・分析と共に、地域課題について関係機関と協議した。(件数)

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
中 央	14	4	10
東 部	7	8	△1
南 部	7	6	1
延べ件数	28	18	10

2) 広域的地域ケア会議

地域ケア会議で検討された地域課題について圏域内の地域包括支援センターと課題の整理を行い、必要な社会資源について検討した。(件数)

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
中 央	4	6	△2
東 部	4	4	0
南 部	5	4	1
延べ件数	13	14	△1

3) ケアプラン作成指導研修事業

居宅介護支援事業所の介護支援専門員を対象に、介護支援専門員研修交流会を実施した。(件数)

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
中 央	2	2	0
東 部	2	2	0
南 部	2	2	0
延べ件数	6	6	0

④介護支援専門員個別相談窓口設置業務

地域の居宅介護支援事業所からの相談を受け、助言・指導等を行った。(件数)

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
中 央	144	207	△63
東 部	298	279	19
南 部	107	82	25
延べ件数	549	568	△19

⑤介護予防普及啓発事業

シニアのための食とお口の健康講座(実績は参加者数)

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
総合福祉センターあイトピア	12	9	3
東部地区市民館飯村分館	16	12	4
アイプラザ豊橋	5	4	1
合 計	33	25	8

⑥高齢者虐待防止ネットワーク運営事業(豊橋市より受託)

高齢者虐待に関する相談と、被虐待者の早期発見、支援のためのネットワークの構築や虐待防止の啓発を実施した。

1)豊橋市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会の開催(委員…14名)

5/25(水)・2/24(金)

2)啓発活動

虐待防止啓発ポスターを作成し、医師会、市民館、豊橋駅に掲載をお願いした。

啓発用ポケットティッシュを作成し、地域包括支援センターを通じて地域の商店等に配布し、店頭においていただいた。

高齢者虐待防止啓発冊子を新たに作成し、関係機関等に配布した。

3)通報・相談件数

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
担当ケアマネジャー	55	46	9
サービス提供事業所	6	5	1
民生委員・児童委員	1	0	1
医療機関	5	8	△3
近隣、友人、家族	23	15	8
本人	3	0	3
行政・警察	47	56	△9
その他	3	4	△1
延べ件数	143	134	9

4) コアメンバー会議の開催状況

豊橋市と地域包括支援センターにより、虐待の判断や緊急性の有無を協議した。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
虐待と判断した件	52	52	0
判断に至らない件	13	3	10
虐待ではないとした件	68	64	4
開催回数	133	119	14

5) 虐待の種類別件数（重複有）

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
身体的虐待	26	32	△6
心理的虐待	12	5	7
性的虐待	0	0	0
経済的虐待	5	5	0
ネグレクト	17	14	3
合 計	60	56	4

6) ネットワークミーティングの開催

虐待案件協議のため、豊橋市や関係機関等によるケース検討会を開催した。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
開催回数	6	3	3

7) 年度末時点の虐待対応状況

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
支援中	25	33	△8
見守り中	13	11	2
終了	65	42	23
合 計	103	86	17

※終了の理由（カッコ内は昨年度実績）

入所 11件（15件）、入院 12件（5件）、死亡 11件（5件）、
改善 19件（10件）、その他 12件（7件）

8) 関係機関との連携（件数）

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
豊橋市長寿介護課	60	58	2
豊橋市生活福祉課	11	11	0
豊橋市障害福祉課	6	10	△4
豊橋市保健所	10	9	1
地域包括支援センター	104	99	5
居宅介護支援事業所	52	50	2
福祉事業所・入所施設	47	48	△1
民生委員・児童委員	9	7	2
医療機関・警察	30	28	2
その他	22	19	3
合 計	351	339	12

9) 高齢者虐待に関する研修会の実施

- ・在宅介護事業所向け研修 9/8（木）参加118人、動画視聴226回
- ・茶話会研修 東部11/2（水）41人、中央11/10（木）47人、南部2/21（火）36人
- ・地域包括支援センター社会福祉士職勉強会 6/17（金）34人

10) 高齢者虐待に関する調査の実施

豊橋市内の全居宅介護支援事業所（73ヶ所）、小規模多機能型居宅介護（4ヶ所）、看護小規模多機能型居宅介護（3ヶ所）、地域包括支援センター（18ヶ所）で把握している高齢者について、「高齢者虐待チェックリスト」を活用して虐待の早期発見並びに実態把握のための状況調査を実施した。

11) 高齢者虐待チェックリストの状況 (件数)

- ・調査対象…令和3年7月の在宅サービス利用高齢者
- ・調査結果

内 容	令和4年度	令和3年度	比 較
チェックリストの項目 に該当なし	9,186	9,081	105
チェックリストの項目 に該当あり	499	467	32
a. 問題なし	439	420	19
b. 通報済み	47	35	12
1) 虐待なし	(12)	(4)	8
2) 虐待と判断できず	(0)	(0)	0
3) 虐待あり	(35)	(31)	4
c. 未通報	13	12	1
1) 虐待なし	(9)	(3)	6
2) 虐待と判断できず	(0)	(0)	0
3) 虐待あり	(4)	(9)	△5
計	9,685	9,548	137
※虐待件数 b3) + c3)	39	40	△1

⑦認知症座談会〔家族介護者交流事業〕の開催 (年6回)

認知症の家族を抱える介護者の負担軽減のため、医師等がサポートし同じ境遇にある家族が交流する座談会を開催した。

- ・助言者／伊莉 弘之 氏 (医療法人さわらび会 福祉村病院 副院長)
- 5/19(木)・11名、7/21(木)・8名、9/15(木)・6名、11/17(木)・7名、1/19(木)・8名、3/16(木)・10名

⑧当事者・家族グループへの支援

認知症座談会に参加された介護者等が参加し、介護について話し合う家族グループの支援・若年性認知症当事者とご家族が情報交換できる会の支援を行った。

1) 家族グループ

- ・なごみの会 (総合福祉センターあいトピア・毎月第2火曜日・会員 8名)
- ・つつじ会 (つつじが丘地域福祉センター・毎月第2水曜日・会員 20名)
- ・ほいっふ認知症介護者交流会 (ほいっふ・毎月第2木曜日・会員 9名)

2) 家族介護者全体交流会 3/2 (木)・22名

3) 若年性認知症ご本人やご家族の交流会「ともの会」・月1回

⑨認知症サポーター養成講座の開催

認知症を理解し、認知症の人や家族を支援していただくサポーターを養成する講座を、企業や各種団体の依頼を受けて認知症地域支援推進員を中心に実施した。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
中 央	13回・528名	17回・329名	△4回・199名
東 部	7回・161名	8回・137名	△1回・24名
南 部	9回・296名	8回・254名	1回・42名
延べ件数	29回・985名	33回・720名	△4回・265名

⑩豊橋市認知症おかえりネットワーク運営事業

行方不明の恐れのある認知症高齢者等を地域で見守ると共に、豊橋警察署、豊橋市消防本部と連携して、行方不明になった場合には早期に発見し保護できる体制づくりに取り組んだ。

1) 事前登録件数

行方不明になる恐れのある認知症高齢者等について、「豊橋おかえりネット登録カード」で把握すると共に、講座等で発見活動協力者の登録を呼びかけた。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
豊橋おかえりネット登録カード	402 (内新規141)	412 (内新規129)	△10 (新規12)
発見活動協力機関	346 (内新規64)	282 (内新規1)	64 (新規63)
発見活動協力員	8,592 (内新規不明)	7,197 (内新規不明)	1,395 (新規不明)

2) 行方不明者ネームプレートの作成、配布

衣類等にアイロンプリントできるネームプレートを登録者に配布した。

3) 行方不明者への事後訪問

発見活動の相談があった方について認知症地域支援推進員が事後訪問を実施し、実態把握と再発防止に向けた支援を行った。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
対象者数	37	41	△4

4) 周知啓発活動

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等に対して、行方不明になる恐れのある高齢者等への事前登録や発見活動協力機関としての登録促進を啓発した。

⑪認知症介護家族支援講座への協力

豊橋市が実施した認知症介護家族支援講座に協力するとともに、終了後の自主グループへの参加の呼びかけを行った。

⑫豊橋市介護保険関係事業者等連絡会

介護保険事業の適正運営とサービスの向上を図るため、連絡会の事務局として、事業者や従事者への情報提供、研修、交流のための各種事業を実施した。

1) 会員数（令和5年3月31日現在）

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
居宅介護支援事業所	86	90	△4
訪問通所系事業所	235	230	5
施設入所系事業所	22	22	0
地域密着型サービス事業所	121	121	0
福祉用具・住宅改修等	32	46	△14
合 計	496	509	△13

2) 運営委員会（委員14名・年4回）

4/13（水）、7/20（水）、10/12（水）、2/15（水）

3) 豊橋市介護保険関係事業者等連絡会全体会 参加状況

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
第1回・6/15（水）配信	視聴回数 計 981回	視聴回数 計 582回	399回
第2回・10/7（金）配信	視聴回数 計 286回	視聴回数 計 393回	△107回
第3回・3/1（水）配信	視聴回数 計 275回	視聴回数 計 629回	△354回
合 計	視聴回数 計 1,542回	視聴回数 計 1,604回	△62回

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため動画配信による研修を実施した。

4) 研修会の実施

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
介護支援専門員研修交流会 9/30（金）配信	視聴回数 計 425回	視聴回数 計 166回	259回
第1回サービス事業者交流会 7/26（火）配信	視聴回数 計 582回	視聴回数 計 513回	69回
第2回サービス事業者交流会 10/28（金）配信	視聴回数 計 256回	—	256回

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため動画配信による研修を実施した。

5) 「令和4年度 事業者ガイドブック」の作成（A4版、全328ページ、1,314冊）

介護保険サービスを適切に活用していただくために、豊橋市内で介護保険サービスを提供する事業者をサービスの種別ごとに紹介したガイドブックを作成し、会員事業所や関係機関に配布した。

6) 在宅医療と介護の連携推進のための「電子@連絡帳」の普及推進

東三河電子連絡帳協議会（東三河ほいっぷネットワーク）が進める電子@連絡帳の普及・啓発に協力した。

(3) 成年後見支援センターの運営（豊橋市より受託）

成年後見制度の相談業務をはじめ、普及啓発、法人後見業務等を行う成年後見支援センターの運営を豊橋市より受託し、認知症、知的障害、精神障害等の理由で判断能力が不十分なために財産管理や契約行為が困難な方が、成年後見制度を適切に活用するための総合的な支援を行った。

① 運営委員会（委員…10名）、受任調整会議（委員…11名）の開催

センター事業の適正な運営を図る運営委員会並びに、適切な受任候補者の検討等を行うことを目的とした受任調整会議（新規設置）を開催した。（開催数）

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
運営委員会	2	2	0
受任調整会議	5	-	-

② 法人後見受任状況（年度末日現在の件数）

1) 受任件数 46件

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
後 見	37	39	△ 2
保 佐	7	6	1
補 助	2	2	0
合 計	46	47	△ 1

2) 対象別の内訳（カッコ内は令和3年度実績）

区 分	後見	保佐	補助	合 計
認知症	18 (19)	1 (1)	0 (0)	19 (20)
知的障害	9 (10)	4 (4)	0 (0)	13 (14)
精神障害	10 (10)	2 (1)	2 (2)	14 (13)
合 計	37 (39)	7 (6)	2 (2)	46 (47)

③ 相談受付状況

1) 相談件数 583件（新規相談229件 継続相談354件）

内 訳	令和4年度	令和3年度	比 較
認知症高齢者	270	196	74
認知症以外の要介護高齢者	63	24	39
要支援・要介護以外の高齢者	13	17	△ 4
知的障害者	95	68	27
精神障害者	67	79	△ 12
身体障害者	5	6	△ 1
その他	70	70	0
合 計	583	460	123

2) 相談内容

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
制度概要	261	295	△34
申立て手続き	242	252	△10
判断能力・診断書・鑑定書	143	151	△8
身上監護に関する事	119	122	△3
財産管理に関する事	275	240	35
家庭裁判所への手続き	56	64	△8
虐待・権利侵害	32	22	10
債務・浪費	51	70	△19
消費者被害	9	26	△17
地域関係	2	7	△5
市長申立て関係	150	52	98
相続・遺産分割協議	75	59	16
任意後見	20	38	△18
その他	245	154	91
合 計	1,680	1,552	128

④ 「成年後見・権利擁護講座」の開催

市民および関係者を対象とし、成年後見制度および権利擁護に対する理解を深めることを目的とした連続講座（全4回）を開催した。（参加者数 ※人数制限あり）

令和4年度	令和3年度	比 較
43名	40名	3名

⑤ 広報啓発

パンフレットを作成し、福祉・医療・保健・その他関係機関・団体に配布したほか、市広報誌等に案内を掲載し広く市民への周知に努めた。また、関係機関での研修会をはじめ、まちづくり出前講座、講演会を通して制度について案内した。

（開催数と参加者数）

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
出前講座	14回・延べ510名	5回・延べ114名	9回・396名
講 演 会	1回・69名	1回・34名	0・35名

(4)日常生活自立支援事業の実施（愛知県社会福祉協議会より受託）

判断能力が十分でないため、日常生活を営むことに支障がある認知症高齢者や知的障害者等の福祉サービスの利用に関する相談・助言・申請手続・費用の支払い等の援助を行う日常生活自立支援事業を実施した。

①相談件数

区 分	令和4年度		令和3年度		比 較	
新規相談	41	1,223	40	1,184	1	39
その他の相談	61		58		3	
関係機関調整	1,121		1,086		35	

②契約件数

区 分	期 首	当 期		期 末
		契約	解約	
新 規	—	5	—	5
継 続	67	—	10	57
合 計	67	5	10	62

③援助件数

区 分	令和4年度		令和3年度		比 較
福祉サービス利用	1,082	3,275	1,168	3,409	△134
金銭管理	2,193		2,241		

④生活支援員の配置

利用者宅などを定期的に訪問し、住み慣れた環境で安心して暮らせるよう、生活費のお届けや日常生活での相談に対応する生活支援員の配置を推進した。

- 1)登録人数：5名
- 2)活動人数：0名（担当ケース：0件）

(5)地域たすけあい事業の実施

住民参加、相互扶助に基づく見守り・たすけあいの体制構築のため、地域の福祉ニーズの把握に努めるとともに、地域住民の福祉意識の高揚を図るために民生委員、自治会と協力し、各種啓発活動を展開した。

①見守りボランティア事業の推進

在宅のひとり暮らし高齢者等の見守りのため、民生委員の協力により見守り登録を推進し、2月に強化月間を展開した（令和3年度までの7月から変更）。

区	分	令和4年度	令和3年度	比較
ひとり暮らし	対象世帯数	3,169	3,397	△228
	見守り世帯数	1,675	1,905	△230
高齢者世帯	対象世帯数	248	271	△23
	見守り世帯数	102	118	△16
障害者世帯	対象世帯数	35	43	△8
	見守り世帯数	19	23	△4
合計	対象世帯数	3,452	3,711	△259
	見守り世帯数	1,796	2,046	△250

※ひとり暮らしとは、近隣（概ね500m以内）に親族がいない状態

※高齢者世帯とは、全員が75歳以上で近隣（概ね500m以内）に親族がいない状態

※障害者世帯とは、ひとり暮らし又は同居者の心身状況に不安があり、近隣（概ね500m以内）に親族がいない状態

②見守りボランティア啓発リーフレットの作成、配布

市内の全世帯に見守りボランティア啓発リーフレットを配布し、ひとり暮らし高齢者等の見守り・たすけあい活動の基盤となる見守りボランティアの育成に努めた。

③冊子サンサンネットの作成・配布

ひとり暮らし高齢者等見守り対象世帯および見守りボランティアに対して、民生委員の協力により情報誌「サンサンネット」を配布した。

<4年度発行部数> 7,000部

④災害時安否確認等の啓発

見守りボランティアに対し、災害時における見守り対象者の安否確認と避難支援への協力を啓発するチラシを配布した。

(6) 民生委員・児童委員活動の推進

豊橋市民生委員児童委員協議会の行う研修や地域福祉活動等に積極的に協力するとともに、モデル民児協を指定して民児協活動の活性化を図った。

① 会議、研修等

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
定期総会	1回	1回（書面）	0
全体研修会	2回	延期（次年度）	2
専門部会研修	各部会・1回	各部会・各1回	0
活動研修会	1回（資料配付）	延期（次年度）	1
新任研修	1回	未実施	1
地区会長施設等視察	2回（会長研修）	延期（次年度）	2
他市視察	1回（会長研修）	中 止	1
研修旅行	未実施	未実施	0

※新任研修は一斉改選年度のみ開催

② モデル民児協の指定（2年間）

旭地区民生委員児童委員協議会と向山地区民生委員児童委員協議会をモデル民児協に指定して、本会と協働して地域の福祉活動を積極的に展開した。

③ 子育て支援事業の実施（「子育てミーティング」等の開催）

6歳までの子どもを養育している方を対象に実施。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
箇所数・延べ人数	3ヶ所・54名	1ヶ所・17名	2ヶ所・37名

※企画した5回のうち2回は参加者が集まらず中止。

④ 活動費の助成

⑤民生児童福祉名簿の整備（件数）

区 分		令和4年度	令和3年度	比 較
生活困難		1,644	1,473	171
障害者（児）	身体	1,121	1,240	△119
	知的	469	556	△87
	精神	116	100	16
	その他	90	84	6
ねたきり高齢者		86	98	△12
ひとり暮らし高齢者		8,421	8,380	41
認知症高齢者		301	352	△51
ひとり親	母子	1,824	2,065	△241
	父子	117	151	△34
高齢者世帯		4,955	4,793	162
児童（赤ちゃん訪問）		15,454	15,759	△305

⑥民生委員互助共励事業の取扱い

(7)地域福祉サービスセンター事業

多様な福祉ニーズに対する総合的な援助のため、各種相談事業等を実施した。

①地域福祉コーディネーターの配置（2名）

②福祉カルテの登録

援助を必要とする世帯（個人）の同意を得た上で「福祉カルテ」を作成し、登録することにより、迅速で適正な福祉サービスを提供する基盤づくりに努めた。

分 類	新規登録件数	登録者数（令和5年3月末現在）
ひとり暮らし高齢者	186	3,169
高齢者世帯	25	248
障害者世帯	3	102
認知症高齢者	3	26
ねたきり高齢者	0	5
合 計	217	3,550

③総合福祉相談の実施

適切な相談業務を行うとともに、訪問相談等による福祉ニーズの掘り起こしを行った。

相談内容	件数内訳			計
	訪問	来所	電話	
福祉サービス利用、介護等	1,134	313	161	1,608
生活相談	0	4,343	3,544	7,887
法律相談	—	115	—	115
合計	1,134	4,771	3,705	9,610

④他機関との連携

連絡先	件数
地域包括支援センター	13
民生委員・児童委員	1
豊橋市長寿介護課	43
豊橋市生活福祉課	17
豊橋市保健所	31
県・市町村社会福祉協議会	9
医療機関	353
介護保険サービス事業所	282
介護保険以外の福祉施設	95
障害者支援センター	55
その他の相談機関等	496
合計	1,395

⑤車いすの短期（3ヶ月以内）貸出

・貸出実績 … 313件（内訳：身体障害者…69件、高齢者…206件、その他…38件）

⑥いきいき通信の発行（月1回）

ひとり暮らし高齢者世帯等に対し、福祉や健康に関する情報を提供した。

(8)相談事業

各種の相談事業を実施することにより市民の福祉ニーズの早期発見に努めるとともに、関係機関と連携して、問題の解決に総合的に取り組んだ。

①心配ごと相談

1)相談日

総合福祉センターあいトピア、つつじが丘・大清水・牟呂地域福祉センター
（各週1回）

2)相談員 9名〔常任相談員1名、相談員（民生委員）8名〕

3) 相談件数

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
開設日数	196日	196日	0日
相談件数	220件	250件	△30件

②法律相談

1) 相談日

つつじが丘地域福祉センター（月1回）

大清水・牟呂地域福祉センター（隔月1回）

2) 相談員 弁護士〔愛知県弁護士会東三河支部へ委託〕

3) 相談件数

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
開設日数	23日	21日	2日
相談件数	115件	104件	11件

③新任職員等業務研修の実施

総合的な相談体制整備の一環として、主に新規採用職員を対象に社会福祉協議会各事業を学ぶ研修を実施し、相談対応の資質向上に努めた。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
回数	全2回	全2回	0回
延べ参加者	延べ30名	延べ22名	8名

(9)福祉資金の貸付等

経済的・社会的基盤の不安定な低所得世帯等に対し、低利又は無利子で福祉資金の貸付を行った。

①生活福祉資金の貸付状況（新規決定件数・額）（愛知県社会福祉協議会より受託）

区 分	令和4年度	令和3年度 件数・金額	比 較
生活支援費	0件 0円	0件 0円	0件 0円
福祉費	3件 306,000円	3件 564,000円	0件 △258,000円
緊急小口資金（特例）	362件 75,470,000円	1,305件 246,360,000円	△943件 △170,890,000円
総合支援資金（特例）	267件 142,970,000円	1,938件 1,042,900,000円	△1,671件 △899,930,000円
緊急小口資金	9件 900,000円	0件 0円	9件 900,000円
総合支援資金	0件 0円	0件 0円	0件 0円
教育支援資金	7件 14,724,000円	2件 2,490,000円	5件 12,234,000円
臨時特例つなぎ資金	0件 0円	0件 0円	0件 0円
不動産担保型生活資金	1件 8,197,000円	0件 0円	1件 8,197,000円
合 計	649件 242,567,000円	3,248件 1,292,314,000円	△2,599件 △1,049,747,000円

※令和5年3月31日までに本会経由で申請し、貸付が決定した件数、金額

※緊急小口資金（特例）、総合支援資金（特例）は新型コロナウイルスの影響による特例貸付（令和2年3月25日より受付開始、令和4年9月30日に受付終了）

※緊急小口資金（特例）、総合支援資金（特例）には、令和3年度に申請し令和4年度に送金された金額を含む

②豊橋市生活資金一時貸付金取扱い状況（豊橋市より受託）

区 分	令和4年度	令和3年度 件数・金額	比 較
貸 付	865件 9,690,000円	834件 9,060,000円	31件 630,000円
返 済	818件 8,090,000円	854件 8,327,000円	△36件 △237,000円

(10)生活困窮者自立相談支援

豊橋市生活福祉課に職員2名を配置し、市職員と連携し生活困窮者自立支援法に基づいた相談業務を実施した。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
新規相談受付数	754	748	6
プラン作成件数	179	182	△3
住居確保給付金	68	73	△5
一時生活支援事業	43	53	△10
就労準備支援事業	5	6	△1
就労支援	164	162	2
生活福祉資金等貸付 (コロナ特例貸付は除く)	9	0	9
就労自立促進事業 (生活保護受給者等)	86	50	36
就労者数	75	80	△5
フードバンク事業	116	133	△17

(11)子どもの貧困対策に向けた取り組み

①学生服リユース事業

1)対象世帯 児童扶養手当受給世帯他

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
男子人数	38	23	15
女子人数	25	33	△8
合 計	63	56	7

2)引き渡し状況 (点数)

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
学生服	213	202	11
体操服・その他	100	140	△40
合 計	313	342	△29

②生活困窮者等への食の支援

経済的な課題や生活等に困難を抱える世帯に対する食の支援の一環として、NPO 法人東三河フードバンクの食品寄付の受付を市内の地域福祉センターで行った。

1)食品寄付の受付期間

令和4年3月23日（水）から令和4年4月5日（火）

令和4年7月6日（水）から令和4年7月19日（火）

令和4年11月16日（水）から令和4年11月29日（火）

令和5年3月22日（水）から令和5年4月4日（火）

2)食品寄付の受付場所

総合福祉センターあいトピア、八町地域福祉センター、

つつじが丘地域福祉センター、大清水地域福祉センター、牟呂地域福祉センター

(12)介護予防事業の実施

高齢者の健やかな生活を支えるために、地域住民や老人クラブ、ボランティアの参加、協力を得て、インフォーマルな介護予防サービスとして、次の事業を実施した。

①レクリエーションを使った介護予防事業「笑って元気！」

住民参加（ボランティア）による介護予防の取り組みとして、民生委員や自治会、老人クラブの協力を得てスクリーニングを実施し、介護予防が必要と判断された高齢者を対象に、筋力の維持・改善、仲間づくりや外出による社会参加促進を目的として開催した。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
スクリーニング	5ヶ所 延べ46名	5ヶ所 延べ43名	0ヶ所 3名
笑って元気！（全10回）	1ヶ所 7名	1ヶ所 4名	0ヶ所 3名

②介護予防サロンの実施

笑って元気！の修了者を中心に、高齢者の自主運営による介護予防を目的としたサロンを開催し、筋力維持・改善目的の体操とレクリエーション等による認知症予防、仲間づくりや外出による社会参加促進に取り組んだ。（実績は参加者数）

会 場	令和4年度	令和3年度	比 較
つつじが丘地域福祉センター	20	18	2
八町地域福祉センター	25	24	1
総合福祉センターあいトピア	19	21	△2
大清水地域福祉センター	16	29	△13
牟呂地域福祉センター	27	23	4
下地校区市民館	11	11	0
松葉校区市民館	14	13	1
新川校区市民館	24	19	5

豊 校 区 市 民 館	6	9	△ 3
多 米 校 区 市 民 館	25	25	0
芦 原 校 区 市 民 館	20	13	7
福 岡 校 区 市 民 館	17	13	4
賀 茂 校 区 市 民 館	16	15	1
花 田 校 区 市 民 館	16	19	△ 3
東 田 校 区 市 民 館	15	20	△ 5
向 山 校 区 市 民 館	11	23	△12
大岩老人福祉センター	13	13	0
栄 校 区 市 民 館	13	11	2
幸 校 区 市 民 館	21	25	△ 4
牛 川 校 区 市 民 館	21	20	1
飯 村 校 区 市 民 館	16	18	△ 2
高 師 校 区 市 民 館	20	18	2
鷹 丘 校 区 市 民 館	22	19	3
岩 田 校 区 市 民 館	8	11	△ 3
二 川 南 校 区 市 民 館	9	10	△ 1
吉 田 方 校 区 市 民 館	22	21	1
玉 川 校 区 市 民 館	13	8	5
富 士 見 校 区 市 民 館	9	12	△ 3
大 崎 校 区 市 民 館	15	16	△ 1
植 田 校 区 市 民 館	20	18	2
野 依 校 区 市 民 館	10	9	1
天 伯 校 区 市 民 館	16	26	△10
前 芝 校 区 市 民 館	14	15	△ 1
津 田 校 区 市 民 館	17	21	△ 4
大 村 校 区 市 民 館	9	7	2
下 条 校 区 市 民 館	12	16	△ 4
東 脇 公 民 館	22	25	△ 3
松 山 校 区 市 民 館	24	20	4
谷 川 校 区 市 民 館	8	12	△ 4
東 細 谷 老 人 憩 の 家	17	18	△ 1
合 計	全40ヶ所 653名	全40ヶ所 684名	0ヶ所 △31名

③介護予防事業「脳の健康教室」の実施

70歳以上の高齢者を対象に、学習サポーターと共に楽しくコミュニケーションをとりながら、簡単な読み書きや計算を中心とする教材（東北大学川島隆太教授監修、くもん学習療法センター作成）を使用した学習を行うことで、脳機能の維持、向上をはかる介護予防の取り組みとして実施した。運営する学習サポーターはボランティアで、本会広報紙や市の広報を活用して募集し事前研修会を開催した。

1)実施内容

前期（4月～8月）、後期（10月～2月）の間、各会場で週1回簡単な読み書き、計算の教材を用いた学習教室（時間は30分程度）を学習サポーターと共にを行い、残り6日間は自宅で学習した。

2)実施状況 ※受講者数（カッコ内は修了者数）

区 分		令和4年度	令和3年度	比 較
あいトピア	前期(全21回)	23(20)	30(26)	△7(△6)
	後期(全20回)	24(20)	29(24)	△5(△4)
八 町	前期(全22回)	12(11)	12(12)	0(△1)
	後期(全21回)	10(9)	12(12)	△2(△3)
つつじが丘	前期(全22回)	21(18)	24(20)	△3(△2)
	後期(全21回)	20(19)	22(20)	△2(△1)
大清水	前期(全22回)	11(10)	24(18)	△13(△8)
	後期(全20回)	14(9)	14(12)	0(△3)
牟 呂	前期(全22回)	17(13)	14(14)	3(△1)
	後期(全20回)	14(12)	15(12)	△1(0)
合 計		166(141)	196(170)	△30(△29)

3)学習サポーター数

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
前期人数	59	65	△6
後期人数	53	62	△9
延べ人数	112	127	△15

※学習サポーターはそれぞれ担当分けをし、5つの教室を運営

※1人あたり30分参加

(13) ボランティア活動の振興

① ボランティア活動推進計画(第4版・令和3年度～7年度)に基づく事業の推進

ボランティアによる福祉のまちづくりを総合的、効果的に進めるため、本推進計画に基づき養成や研修、登録、情報提供、広報啓発、環境整備、コーディネート等の事業に取り組んだ。

② ボランティアコーディネーターの配置(常勤6名)

豊橋市総合福祉センターにボランティアセンターを開設し、ボランティアコーディネーターによる相談・支援体制の充実に努めた。

[開設日 火曜日～日曜日(祝日含む)・午前9時～午後9時]

③ ボランティアセンターの運営(昭和53年2月1日設置)

1) ボランティアセンター運営委員会の開催(委員16名・年3回)

2) ボランティアに関する相談・情報提供・調整の状況

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
情報の提供	14,394件	13,741件	653件
福祉学習等講師派遣	35件	31件	4件
(延べ人数)	286名	254名	32名
(対象人員)	3,425名	3,172名	253名
体験活動等受入調整	0件	0件	0件
(調整先)	0件	0件	0件
(受入人数)	0名	0名	0名
ボランティア紹介	2,552件 4,944名	2,127件 4,359名	425件 585名
(施設協力)	5件 13名	5件 6名	0件 7名
(行事協力、在宅支援)	1,680件 4,491名	1,178件 3,884名	502件 607名
(点訳活動)	307件	316件	△9件
(音訳活動)	150件	167件	△17件
(視覚障害者ガイド)	336件 336名	296件 296名	40件 40名
(肢体不自由者ガイド)	74件 104名	165件 173名	△91件 △69名
ボランティア活動保険 取扱い件数・加入者数	202件 1,892名	210件 2,014名	△8件 △122名
ボランティア行事用保険 取扱い件数・加入者数	100件 3,427名	45件 1,966名	55件 1,461名
活動資材貸出 取扱い件数・点数	122件 665点	106件 583点	16件 82点
合計件数	17,405件	16,260件	1,145件

3) ボランティア登録

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
グループ登録	139団体 4,925名	144団体 4,963名	△5団体 △38名
個人登録	73名	84名	△11名
見守りボランティア	1,796名	2,046名	△250名
ボランティア登録数合計	139団体 6,794名	144団体 7,093名	△5団体 △299名

4) 活動状況

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
高齢者福祉	3,770件 13,529名	2,739件 9,766名	1,031件 3,763名
障害者児福祉	1,659件 10,523名	1,599件 9,875名	60件 648名
児童福祉	544件 4,336名	533件 3,392名	11件 944名
地域環境整備	280件 4,280名	171件 1,743名	109件 2,537名
その他	1,124件 5,651名	839件 5,034名	285件 617名
個人活動	967件 967名	785件 785名	182件 182名
合 計	8,344件 39,286名	6,666件 30,595名	1,678件 8,691名

5) ボランティアセンターポスター・パンフレットの配布

6) ボランティア活動拠点の整備によるボランティアグループ支援（あイトピア内）

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
ボランティア活動室	492件 6,426名	441件 5,876名	51件 550名
印刷作業室、録音室、編集室	1,599件 5,967名	1,682件 6,083名	△83件 △116名
団体用貸出書庫	19団体 貸出数42	20団体 貸出数42	△1団体 貸出数0
団体用貸出ロッカー	17団体 貸出数32	17団体 貸出数32	0団体 貸出数0
メールボックス	29団体	30団体	△1団体

④ ボランティア養成講座の開催

各種講座を開催し、福祉ボランティアの人材育成やボランティアグループの支援を行った。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
手話体験講習会	年4回 受講者68名	年4回 受講者71名	0回 △3名
手話入門・基礎講習会	全45回 受講者30名 修了者24名	全45回 受講者30名 修了者20名	0回 0名 4名
要約筆記入門講座	全1回 受講者4名 修了者4名	全1回 受講者13名 修了者12名	0回 △9名 △8名
点訳ボランティア養成講座 (昼の部)	全15回 受講者1名 修了者1名	全15回 受講者8名 修了者8名	0回 △7名 △7名
点訳ボランティア養成講座 (夜の部)	全16回 受講者3名 修了者1名	全16回 受講者4名 修了者4名	0回 △1名 △3名
音訳ボランティア養成講座	全10回 受講者5名 修了者5名	全10回 受講者3名 修了者3名	0回 2名 2名
福祉レクリエーション ボランティアセミナー	全6回 受講者2名 修了者1名	全6回 受講者2名 修了者2名	0回 0名 △1名
視覚障害者カイドヘルプ ボランティア講習会	全2回 受講者6名 修了者6名	全2回 受講者4名 修了者4名	0回 2名 2名
視覚障害者カイドヘルプ かるがも フォローアップ講座	年1回 受講者13名	年1回 受講者16名	0回 △3名
肢体不自由者ガイドヘルプ ボランティア講習会	全2回 受講者4名 修了者4名	全2回 受講者5名 修了者5名	0回 △1名 △1名
肢体不自由者ガイドヘルプ 渋茶倶楽部 フォローアップ講座	年1回 受講者15名	年1回 受講者14名	0回 1名
知的障害者サポート ボランティア講習会	年1回 受講者8名 修了者8名	年1回 受講者8名 修了者8名	0回 0名 0名
ボランティアはじめの一步 セミナー	年1回 受講者19名	年1回 受講者10名	0回 9名
ボランティアグループ 運営研修会	年1回 受講者43名	年1回 受講者29名	0回 14名
地域で活躍!! レクリエーションリーダー 講座(年2回)	各全6回 受講者6名 修了者5名	各全6回 受講者11名 修了者11名	0回 △5名 △6名
傾聴ボランティア研修会	全2回 受講者26名 修了者21名	全2回 受講者14名 修了者11名	0回 12名 10名
楽しくなかまづくり 縁ジョイ講座 ※令和3年度は支え合い活動等支援 講座として実施	全5回 受講者14名 修了者10名	全2回 受講者36名 修了者36名	3回 △22名 △26名
おもちゃ図書館講習会	全1回 7名	2年に1回 実施無し	1回 7名
合 計	18講座 受講者274名	17講座 受講者278名	1講座 △4名

⑤「まずは体験！入門！身近な施設でボランティア」の作成、配布、電子媒体の提供
福祉への理解促進とボランティア活動へのきっかけ作りを目的に、市内福祉施設の
受入状況をまとめ、中学校区ごとに掲載した冊子を作成、配布、電子媒体で提供した。

⑥とよはしボランティアネットワーク事業の推進

市民がさらに充実したボランティア活動に取り組めるよう、市内のボランティアの
連携を推進するとよはしボランティアネットワークの事務局として積極的にサポー
トを行った。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
構成メンバー	104団体 個人26名	108団体 個人26名	△4団体 0名
連絡会の実施	年12回	年12回	0回
連絡会メンバー	12団体 17名	14団体 19名	△2団体 △2名
年次集会	年1回 参加者54名	年1回 参加者157名	0回 △103名
交流会	年1回 38名	年1回 29名	0回 9名
グループ運営研修会 (再掲)	年1回 43名	年1回 29名	0回 14名
ガイドブック作成	掲載102団体	掲載106団体	△4団体
通信の作成・配布	月1回	月1回	0回

⑦ボランティア活動への助成

ボランティアセンター登録または「とよはしボランティアネットワーク」に参加し
ている団体を対象に、各団体の事業に必要な経費の一部を助成した。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
助成件数	2件	4件	△2件
助成額	150,000円	143,000円	7,000円

⑧ボランティアグループの活動支援

下記のボランティアグループの事務局として運営にあたり、利用者とボランティアとのコーディネート業務を行い、その活動を積極的に支援した。

1) 視覚障害者ガイドヘルプ「かるがも」（会員…37名）

「視覚障害者ガイドヘルプボランティア講習会」の修了者を中心にボランティアグループを結成し、視覚障害者ガイドヘルプサービスを実施した。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
通 院	3件	9件	△6件
	3名	9名	△6名
研修会等行事参加	10件	1件	9件
	10名	1名	9名
散 歩	88件	110件	△22件
	88名	110名	△22名
Q O L の 向 上	232件	176件	56件
	232名	176名	56名
その他	0件	0件	0件
	0名	0名	0名
合 計	336件	296件	40件
	336名	296名	40名

※その他…福祉実践教室の講師として協力（13件、39名）

2) 肢体不自由者ガイドヘルプ「渋茶倶楽部」（会員…26名）

肢体不自由者ガイドヘルプボランティア講習会の修了者を中心としたグループにより、肢体不自由者の外出や社会参加を支援した。

○ガイドヘルプの実施

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
研修会等行事参加	0件	0件	0件
	0名	0名	0名
買 物	1件	0件	1件
	2名	0名	2名
散 歩	70件	163件	△93件
	73名	171名	△98名
Q O L の 向 上	1件	2件	△1件
	1名	2名	△1名
施設内行事参加	0件	0件	0件
	0名	0名	0名
その他	0件	0件	0件
	0名	0名	0名
合 計	72件	165件	△93件
	76名	173名	△97名

○交流事業の実施

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
実施回数	2回	1回	1回
利用者の参加	5名	3名	2名
ボランティア参加	28名	13名	15名

※その他…福祉実践教室等の講師として協力（15件、48名）

3) 点工房（会員…43名）

「点字広報とよはし」や「点字市議会だより」の制作を中心に、点訳活動を通して視覚障害者に対する情報保障活動を行った。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
広報とよはし	毎月1回・50部 12件	毎月1回・60部 12件	△10部 0件
市議会だより	年5回・50部 5件	年5回・65部 5件	△15部 0回
玉手箱	毎月101項 希望者回覧 12件	毎月101項 希望者回覧 12件	0項 0件
とよひかり	48週22項 48件	51週22項 51件	△3週0項 △3件
個人依頼等	230件	236件	△6件
合 計	307件	316件	△9件

※その他…福祉実践教室等の講師として協力（14件、27名）

4) 音訳グループ ぴっち（会員…33名）

「声の広報とよはし」や「声のとよはし市議会だより」の制作、福祉団体や個人からの依頼に対する音訳活動を通して、視覚障害者への情報保障活動を行った。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
広報とよはし	毎月1回 12件	毎月1回 12件	0回 0件
市議会だより	年5回 5件	年5回 5件	0回 0件
ホーム通信	毎月90分・2巻 12件	毎月90分・2巻 12件	0巻 0件
玉手箱	毎月60分・2巻 12件	毎月60分・2巻 12件	0巻 0件
障害者団体 機関紙	21件	22件	△1件
個人依頼等	88件	104件	△16件
合 計	150件	167件	△17件

※その他…福祉実践教室等の講師として協力（8件、25名）

5) 豊橋さなえ会（会員…10名）

高齢者、障害者等に対して食事サービスを中心とする援助活動を行った。

- ・老人誕生給食「寿弁当」の配布（延べ94食）

毎月第1火曜日、その月に誕生日を迎える高齢者等に弁当をプレゼントした。

- ・料理講習会の実施協力
- ・各種福祉関連行事への参加、協力

6)おもちゃ図書館（会員…16名）

障害のある幼児童を含む子どもたちの健やかな成長や発達を促すため、おもちゃの貸出や保護者・ボランティア等の交流活動を実施した。

○なかよしライブラリー

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
年間開催数	第1、3土曜日 年間24回	第1、3土曜日 年間19回	5回
利用者 (幼児童) (保護者)	397名 (221名) (176名)	414名 (222名) (192名)	△17名 (△1名) (△16名)
ボランティア	172名	72名	100名

○特別開館

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
年間開催数	年間25回	年間22回	3回
利用者	112名	120名	△8名
ボランティア	110名	58名	52名

7)レクリエーションリーダー連絡会（会員…112名）

「地域で活躍!!レクリエーションリーダー講座」修了者で結成し、体操やレクリエーション活動などを通して、高齢者の介護予防事業に取り組んだ。

- ・連絡会の実施（毎月1回第1木曜日）
- ・介護予防サロン運営協力（市内40ヶ所）
- ・スクリーニング実施協力

受付、運動機能測定、「笑って元気！」の内容説明と参加者受付を行った。

- ・「笑って元気！」実施協力（市内1ヶ所）
- ・介護予防を目的とした教室で、体操やレクリエーションの実施運営に協力した。

8) 傾聴ボランティア連絡会（会員…96名）

「傾聴ボランティア講座」修了者で結成し、高齢者施設のニーズのひとつと想定される傾聴（話し相手）に対応し、利用者のQOL向上に取り組んだ。

（活動件数203件）

- ・連絡会、研修会の実施（年3回）

⑨福祉施設ボランティア受入担当者連絡会

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
参加施設数	0回・0施設	0回・0施設	0回・0施設

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設でのボランティア受入中止

⑩大学、専門学校との連携に関わる連絡会

学生のボランティア参加促進に関わる連携について、学校担当者と協議した。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
参加校	年1回 3大学、1専門学校	年1回 2大学、2専門学校	0回 1大学 △1専門学校

⑪第30回東三河ボランティア集会（共催事業・令和4年度は蒲郡市が幹事）

蒲郡市を会場に開催された東三河ボランティア集会実行委員会に参加し、企画および当日の運営に参加した。

- 1)期 日 令和5年3月5日(日) 午前9時15分～午後3時30分
- 2)会 場 蒲郡市民会館
- 3)テーマ 「人生100年時代 笑顔で楽しい新たなボランティア活動を目指して前進」
- 4)参加者 380名（豊橋市からは81名）

(14)福祉教育の推進

次代を担う児童・青少年に対して、ボランティア体験学習を中心とする福祉教育を関係機関やボランティアの協力を得て実施するとともに、福祉のまちづくり実現のために、各種福祉情報の提供や広報啓発活動並びに助成事業を行った。

①豊橋市社会福祉協力校の委嘱と活動費の助成（6校）

- 1)小学校（3校）… 二川小学校、松葉小学校、大崎小学校
- 2)中学校（3校）… 高師台中学校、中部中学校、章南中学校

②豊橋市福祉教育研究校の委嘱と活動費の助成（4校）

- 1)小学校（2校）… 幸小学校、植田小学校
- 2)中学校（2校）… 青陵中学校、東陽中学校

③社会福祉協力校（研究校）連絡会の開催

社会福祉協力校（研究校）と福祉教育に関する意見交換を行った。（年開催数）

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
実施状況	2	2	0

④児童生徒の福祉実践教室等の教育活動への企画協力（講師派遣）

社会福祉協力校（研究校）を中心に、開催を希望する学校において、手話や点字、視覚障害者ガイドヘルプ等の体験学習や障害についての理解を深める講演会、施設体験学習を実施すると共に、認知症を主とした高齢者理解のプログラムを提供した。

1) 福祉実践教室等の共催

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
福祉実践教室	10校	7校	3校
認知症サポーター講座	2校	2校	0校

2) 福祉学習への協力

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
相談件数（学校等）	35件	31件	4件
対象児童、生徒人員	3,425名	3,172名	253名
講師人数	286名	254名	32名
受入協力施設	中止	中止	0施設

⑤青少年等ボランティア福祉体験学習事業

社会福祉協力校、終了校の中・高校生が社会福祉施設活動や福祉行事に参加するボランティア体験学習を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、下記⑦を代替事業として実施した。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
高校生ワークキャンプ 事前研修 実習	0校・0名 0校・0名	0校・0名 0校・0名	0校・0名 0校・0名
中学生体験学習 事前研修 実習	0校・0名 0校・0名	0校・0名 0校・0名	0校・0名 0校・0名
いきいきフェスタ 事前研修 実習	0校・0名 0校・0名	0校・0名 0校・0名	0校・0名 0校・0名

⑥小学生のためのボランティア体験学習事業

小学生の福祉の心の育成を目的に、地域で関わることができるボランティア体験プログラム（介護予防サロンでのボランティア体験）を実施した。

1) 対 象

介護予防サロンを実施している校区の小学校に通う児童（原則4～6年生）

2) 受入期間

夏休み期間中（8月）のサロン開催日（2日間）より選択（複数日選択可）

3) 実施状況

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
受入サロン数	15ヶ所	0ヶ所	15ヶ所
延べ参加者数	44名	0名	44名

⑦夏休み福祉体験学習代替事業

「コロナに負けるな！こんな時だからこそ出来ること！みんなで作って贈って交流体験！」

児童生徒一人ひとりが折り紙等のクラフトを持ち寄って作った作品を地元の福祉施設に贈り、受け取った福祉施設にはお礼品を用意してもらい学校に届けることで、学校と地元の福祉施設との交流を図った。

1) 対象

小学生（原則4～6年生）～高校生

2) 実施状況

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
参加学校数	小学校8校 中学校2校 高校3校	小学校7校 中学校2校 高校6校	1校 0校 △3校
参加福祉施設数	22施設	32施設	△10施設

⑧福祉活動等助成事業

社会福祉協力校（研究校）事業の委嘱を終了した学校をフォローするため、独自に取り組んだ福祉教育活動に対して助成を行った。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
助成実績	10校 182,758円	9校 172,195円	1校 10,563円

⑨福祉教育啓発ポスター「きつず・ぼらんていあ」の配布

福祉についての理解を深めるための啓発ポスターを作成し、市内の小中高等学校に配布した。（年2回、90校、1,248クラス）

⑩福祉学習用の参考資料の作成、配布

- 1) 福祉実践教室テキスト「福祉教室ガイド」の作成・配布
- 2) 福祉・ボランティアQ&Aガイドの配布
- 3) 福祉学習テキスト「ほっと！すてっぷ」の配布
- 4) 福祉施設エリアガイドの配布、電子媒体の提供

⑪図書・ビデオライブラリーの設置

学校、市民に対する福祉情報提供サービスとして、福祉やボランティア活動についての学習用図書並びにビデオを無料で貸し出すライブラリーを開設した。

・図書貸出…106件、237冊 ・DVD貸出…2件、5本

⑫社会福祉活動・ボランティア活動者の会長表彰

日頃から社会福祉活動・ボランティア活動に積極的に参加し、他の模範となるような生徒に対し、表彰盾を贈呈した。

1)表彰対象 豊橋市内の高等学校生徒（市内10校）

2)受賞者 4名

(15)福祉人材バンク事業の推進

福祉サービス事業従事者確保のため、福祉人材の就労あっ旋・紹介を行う福祉人材無料職業紹介事業(厚生労働大臣認可…平成11年2月1日)を実施した。また、在宅福祉サービスや社会福祉施設、ボランティア活動等への理解を深めるために、広報啓発活動や各種講座を開催した。

①福祉の仕事に関する相談の受付件数

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
新規求職	109	113	△4
新規求人	488	443	45
求人求職相談件数	1,358	1,345	13
合 計	1,955	1,901	54

②ネット紹介システムの実施(平成16年3月23日開始、平成18年12月18日リニューアル)

中央福祉人材センター、愛知県福祉人材センターと連携し、インターネットによる職業紹介「福祉のお仕事 ネット紹介システム」を運用した。

[ホームページアドレス <http://www.fukushi-work.jp/>]

③講演会、研修会の実施

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
福祉人材バンク講演会	年1回 8名	年1回 10名	0回 △2名
施設職員のための 福祉レクリエーション 入門講座	全6回 受講6名 修了6名	全6回 受講3名 修了3名	0回 3名 3名

④福祉の就職総合フェアの実施（実績は参加者数）

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
東三河会場(本会主催)	72	65	7

※その他、愛知県福祉人材センター主催のフェア2回に職員を派遣

⑤キャリア支援専門員の配置

関係機関との情報交換等により詳細な求人・求職状況を把握し、無料職業紹介所やハローワークの求職者の希望に沿ったマッチングを行うキャリア支援専門員を配置し、福祉人材の確保及び定着化に努めた。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
ハローワーク巡回相談 (豊橋、豊川、新城)	毎月各所1回	毎月各所1回	0回
福祉人材センター・バン ク相談員定例会(県 社協)	毎月1回	毎月1回	0回
福祉人材バンク相談員 定例会(豊橋社協)	毎月1回	—	1回

⑥潜在介護福祉士等の職場復帰支援プログラム

福祉分野の人材確保のため、福祉有資格者の就労を支援する講座を実施した。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
第1回(2日間)参加者数	6	2	4
第2回(2日間)参加者数	2	2	0
第3回(2日間)参加者数	5	—	5
合 計	13	4	9

⑦福祉人材確保のための資料等の作成、配布

- 1) 社会福祉施設紹介冊子「社会福祉施設のあらまし」の作成
- 2) 福祉の仕事に関する総合情報冊子「福祉ワークとよはし」の作成
- 3) 人材バンク関連資料の配布、広報、啓発活動の実施

(16)とよはしファミリー・サポート・センターの運営

会員相互の育児援助による仕事と育児の両立を目的に次の事業を実施した。

①アドバイザー並びにサブリーダーの配置・会員数の状況

- 1)主任アドバイザー1名、アドバイザー1名、サブリーダー 市内9ブロック 13名
- 2)会員数の状況

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
援助会員数	356	340	16
依頼会員数	1,547	1,569	△22
両方会員数	149	164	△15
合 計	2,052	2,073	△21

②活動実績（子ども1人を1件と数えた件数）

活動内容	令和4年度	令和3年度	比 較
1. 保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	429	997	△568
2. 保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	594	1,060	△466
3. 保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	11	35	△24
4. 学校の放課後の預かり	73	51	22
5. 児童クラブの迎え及び帰宅後の預かり	293	463	△170
6. 児童クラブからの帰宅後の預かり	41	53	△12
7. 子どもの病気時の援助	1	3	△2
8. 子どもの習い事等の場合の援助	1,027	1,109	△82
9. 保育所・学校等休み時の援助	137	215	△78
10. 保育所等施設入所前の援助	0	0	0
11. 保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	170	38	132
12. 保護者等の求職活動中の援助	6	6	0
13. 保護者等の冠婚葬祭による外出 他の子どもの学校行事の場合の援助	9	8	1
14. 保護者等の外出の場合の援助	552	469	83
15. 保護者等の病気、その他急用の場合の援助	0	0	0
16. 学校の登下校時の援助	180	349	△169
17. 病院の送迎及び同行	20	5	15
18. 講習会の託児	49	46	3
小 計	3,592	4,907	△1,315
19. 緊急時の予約受付	1	6	△5
合 計	3,593	4,913	△1,320

③会員講習会等の実施

会員が安心して援助活動を行うことができるように講習会を開催し、運営上の重要事項や託児を行う上で必要な知識の周知を図った。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
会員講習会	年4回 125名	年4回 132名	0回 △7名
フォローアップ 講習会(救命講習含む)	年5回 会員56名	年5回 会員59名	0回 △3名
スキルアップ講座 (援助・両方会員)	年1回 会員11名	年1回 会員8名	0回 3名
会員交流会	年1回 会員19名 子ども21名 家族5名	年1回 会員18名 子ども19名 家族5名	0回 1名 2名 0名
連絡調整会議 (サブリーダー)	年2回 18名	年2回 20名	0回 △2名

④広報誌等の発行

- 1) ファミリー・サポート・センター通信「子育てサポート」の作成、配布
(配布時期を変更した為、令和4年度は発行無し)
- 2) 「センターだより」の発行(年3回、全会員に送付)
- 3) LINE公式アカウントによるファミリー・サポート・センターの情報提供

(17)豊橋市つどいの広場の運営

豊橋市から委託を受けて、主に乳幼児(0歳から3歳)とその保護者が気軽に集うことができる機会により、「密室育児」による孤立感、閉塞感の解消と子育て・悩み相談や育児に関する情報提供など、子育て支援のための事業を実施した。

①アドバイザー配置状況 アドバイザー1名、アルバイト9名

②開所場所・日時

- 1) 総合福祉センターあいトピア /毎週月・木・金曜日 午前10時～午後3時
 - 2) 牟呂地域福祉センター /毎週火・水・木曜日 午前10時～午後3時
 - 3) 豊橋創造大学 /毎週火・水・木曜日 午前10時～午後3時
- (令和4年4月～アイプラザ豊橋より移転)

③利用状況

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
総合福祉センター あいトピア	開所 144日 大人2,046名 子ども2,431名 相談件数117件	開所 144日 大人1,858名 子ども2,154名 相談件数93件	0日 大人188名 子ども277名 相談件数24件
牟呂地域福祉 センター	開所 146日 大人2,183名 子ども2,460名 相談件数187件	開所 147日 大人1,301名 子ども1,469名 相談件数85件	△1日 大人882名 子ども991名 相談件数102件
豊橋創造大学	開所 143日 大人1,808名 子ども1,984名 相談件数131件	開所 141日 大人1,740名 子ども2,065名 相談件数176件	2日 大人68名 子ども△81名 相談件数△45件

④専門相談、ミニ講座等の実施

1) 歯科衛生士、保健師、保育士、管理栄養士いずれかによる専門相談

(各会場・毎月1回) ※あいトピア・創造大会会場のみ11回 (講師都合により1回中止)

2) 産婦人科専門医による子育て講演会の実施

「おうちでできるからだのお話し」をテーマに講演会の実施 (各会場・年1回)

3) 子育てミニ講座の実施

保育士、健康運動指導士、管理栄養士等による楽しい遊びや学習を行う子育てミニ講座を、スタッフ、親子の交流やふれあいの場として実施した。

(各会場・年12回) ※あいトピア会場のみ11回 (講師都合により1回中止)

⑤LINE公式アカウントによるつどいの広場の情報提供 (3会場)

(18)在宅福祉サービスの提供

①介護保険事業の実施

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
居宅介護支援事業	3事業所 延べ11,842件	3事業所 延べ13,126件	0事業所 △1,284件
訪問介護事業	2事業所 延べ17,698回 15,892.5時間	2事業所 延べ21,116回 19,492時間	0事業所 △3,418回 △3,599.5時間
総合事業 訪問型サービス	2事業所 延べ8,670回 延べ8,580時間	2事業所 延べ9,992回 延べ9,964.5時間	0事業所 △1,322回 △1,384.5時間
訪問入浴	1事業所 延べ170世帯 延べ902回	1事業所 延べ197世帯 延べ1,002回	0事業所 △27世帯 △100回
通所介護	1事業所 延べ464名 延べ5,343回	1事業所 延べ456名 延べ5,306回	0事業所 8名 37回
総合事業 通所型サービス	1事業所 延べ173名 延べ931回	1事業所 延べ176名 延べ931回	0事業所 △3名 0回

②障害福祉サービスの提供

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
障害者相談支援	1事業所 利用支援384件 継続支援1,448件 地域相談支援1件	1事業所 利用支援448件 継続支援1,689件 地域相談支援0件	0事業所 △64件 △241件 1件
障害者 ホームヘルパー	1事業所 延べ939世帯 延べ9,906回 延べ8,690.5時間	1事業所 延べ975世帯 延べ10,968回 延べ10,174時間	0事業所 △36世帯 △1,062回 △1,483.5時間
障害者 ガイドヘルパー	1事業所 延べ125世帯 延べ404回 延べ481時間	1事業所 延べ122世帯 延べ454回 延べ525.5時間	0事業所 3世帯 △50回 △44.5時間
障害者 訪問入浴	1事業所 延べ56世帯 延べ328回	1事業所 延べ51世帯 延べ319回	0事業所 5世帯 9回

③避難行動要支援者登録台帳作成業務（豊橋市より受託）

日頃の見守りと発災時の対応のため、災害時に支援が必要な方の登録を支援した。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
登録台帳作成件数	53件	38件	15件

(19)災害時要支援者支援体制の構築

①災害活動支援推進計画に基づく事業の推進

地震など大規模災害に対応するための「災害活動支援推進計画（第5版）」に基づき、災害ボランティアセンターを共同設置する豊橋市とも連携し、人材確保や体制整備に努めた。

1)災害ボランティアコーディネーター連絡会

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
会員の状況	A会員 220名 B会員 144名 合 計 364名	A会員 225名 B会員 139名 合 計 364名	△5名 5名 0名
連絡会の開催	1回 23名	0回 0名	1回 23名

2)災害ボランティアコーディネーター養成講座等人材の育成

災害ボランティアセンターの主たる運営者となる災害ボランティアコーディネーターを確保する事業を実施した。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
養成講座	全1回 受講者31名 連絡会参加24名	全1回 受講者31名 連絡会参加26名	0回 0名 △2名
レベルアップ講座	年1回 16名	年1回 33名	0回 △17名
豊橋市総合防災訓練	0回 0名	0回 0名	0回 0名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、養成講座は1回に縮小して実施

※総合防災訓練は夜間開催の為不参加

②愛知県社会福祉協議会・市町村社協災害対応支援部会への参加、協力

災害時活動における県内市町村社協の連携推進を目的として愛知県社会福祉協議会が設置する部会に、東三河ブロックとして協力した。（令和4年度は豊川市が幹事）

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
災害対応支援部会	年3回	年3回	0回
災害対応支援会議	年1回	年1回	0回

③東三河ブロック社会福祉協議会・災害担当者連絡会の開催

災害時の連携体制構築のため、東三河ブロックの社会福祉協議会職員が参集し、情報交換によりそれぞれの課題を共有すると共に、今後のブロック内連携のあり方について協議した。（令和4年度は豊川市が幹事）

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
災害担当者連絡会	年1回 5市2町1村	年1回 5市2町1村	0回

④事業継続計画（BCP）に基づく備蓄

大規模災害時の事業継続計画に基づき、発災後の事業継続のため、職員の活動に必要な5日分の食糧並びに物品の備蓄を行った。

4. 一般事業

(1)児童・母子福祉事業

- ①あかいはね子どもの遊び場の設置（15ヶ所）

- ②母子・父子世帯等児童新入・進学祝品の贈呈（計233名）
 - 1) 小学校入学児童：母子世帯…117名、父子世帯…2名
 - 2) 中学校入学児童：母子世帯…103名、父子世帯…11名

- ③豊橋母子福祉会事業への助成（歳末たすけあい配分金）
 - 1) クリスマス会開催費の助成
- ④豊橋保育協会への助成

- ⑤豊橋市幼稚園協会への助成

- ⑥民間保育所遊具等整備資金の助成（49施設）

- ⑦児童福祉週間関係行事への協力

- ⑧優良子ども会への記念品贈呈（東向山3区子ども会）

(2)福祉教育振興基金助成事業

児童養護施設等や里親の元で生活する児童が進学や就職するための経費の一部を助成し、児童の自立に向けての環境づくりを支援した。

（平成14年度故眞木きく氏からの遺贈及び平成29年度豊橋市からの寄付金に基づく事業）

①助成対象

- 1) 豊橋若草育成園、豊橋ゆたか学園、豊橋平安寮、岩崎学園、里親
- 2) 高等学校、大学等への進学に伴う修学資金、就学支援金、就職支度金

②助成金額単価

進学先	助成金額	
	修学資金	就学支援金、就職支度金
公立高校	月10,000円	100,000円
私立高校	月15,000円	100,000円
特別支援学校	月 5,000円	100,000円
国公立大学	月10,000円	400,000円以内
私立大学		600,000円以内
就 職	—	50,000円

③助成実績

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
修学資金 (高等学校等)	31件・3,080,000円 公立 17件 私立 3件 特別支援学校 11件	32件・2,985,000円 公立 17件 私立 2件 特別支援学校 13件	△1件・95,000円 0件 1件 △2件
修学資金 (大学等)	0件	1件・120,000円 私立 1件	△1件・△120,000円 △1件
就学支援金 (高等学校等)	12件・1,200,000円 公立 6件 私立 2件 特別支援学校 4件	11件・1,100,000円 公立 8件 私立 0件 特別支援学校 3件	1件・100,000円 △2件 2件 1件
就学支援金 (大学等)	0件	1件・600,000円 私立 1件	△1件・△600,000円 △1件
就職支度金	5件・250,000円	7件・350,000円	△2件・△100,000円
合 計	48件・4,530,000円	52件・5,155,000円	△4件・△625,000円

(3)高齢者福祉事業

①ひとり暮らし高齢者「ふれあい料理講習会」

ひとり暮らしの高齢者の食生活改善や仲間づくり、ボランティアとの交流

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
総合福祉センター あいトピア	全1回 参加者6名	全0回 参加者0名	1回 6名
つつじが丘地域 福祉センター	全1回 参加者3名	全0回 参加者0名	1回 3名
大清水地域福祉 センター	全1回 参加者8名	全0回 参加者0名	1回 8名

②「クッキングパパ」

ひとり暮らし高齢者「ふれあい料理講習会」の修了者の男性を中心に結成されたグループの活動を支援した。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
総合福祉センター あイトピア	全1回 参加者4名	全0回 参加者0名	1回 4名

③敬老祝品の贈呈

- 1) 饅頭（88歳及び99歳以上） … 2,123名
- 2) バス・フェイスタオルセットA（99歳） … 130名
- 3) バス・フェイスタオルセットB（100歳以上） … 209名

④豊橋市介護者表彰

7年以上の長期にわたり、在宅でねたきり高齢者、重度障害者等を介護されている方に対してその労をねぎらい、感謝状及び記念品を贈呈した。（被表彰者…4名）

表彰伝達式…令和5年3月15日（水） 於：総合福祉センターあイトピア

⑤ダイヤモンド婚・金婚記念品の贈呈

ダイヤモンド婚（結婚60周年）と金婚（結婚50周年）を迎えたご夫婦に対し、豊橋市高齢者福祉大会において記念品の花束を贈呈した。

（ダイヤモンド婚…45組、金婚…85組）

⑥老人クラブ活動の育成

- 1) 活動費の助成
- 2) 高齢者囲碁・将棋大会への協力
- 3) 高齢者趣味の演芸大会への協力 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑦要介護認定訪問調査事業の受託実施

訪問調査業務を豊橋市及び他市区町村より受託し、申請世帯の訪問調査を実施した。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
調査依頼件数	3,359件	4,650件	△1,291件
調査実施件数	3,379件	4,584件	△1,205件

(4)障害者（児）福祉事業

①障害者団体活動への援助、協力

- 1)豊橋市手をつなぐ育成会
 - ・事業費の助成 ※助成事業中止
 - ・中学卒業祝品の贈呈（令和4年度実績…0名）
 - ・クリスマス会開催費の助成（歳末たすけあい配分金）
- 2)豊橋市肢体不自由児（者）父母の会
 - ・事業費の助成
 - ・クリスマス会開催費の助成（歳末たすけあい配分金）
- 3)豊橋精神障害者地域家族会への助成
- 4)豊橋身体障害者協会への助成
- 5)豊橋身体障害者（児）福祉団体連合会への助成
- 6)豊橋市聴覚障害者協会への助成
- 7)「伸びゆく子どもたちの作品展」の助成（豊橋市特別支援教育研究協議会）
- 8)愛友会への助成

②身体障害者リフトカーの貸出

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
貸出件数	4	4	0

③「障害児（者）とボランティアのつどい」の開催（年1回）

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
参加者数	—	547	△547
（障害児者、家族）	—	(335)	(△335)
（ボランティア）	—	(212)	(△212)

※動画撮影のみ実施のため、参加者数等の実績は無し

④「2023年 豊橋市障害者はたちのつどい」（式典）の共催（年1回）

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
参加者	12	12	0

※新型コロナウイルス感染症の影響で会場へ来場が困難な対象者に対し、式典の様子をYouTubeでライブ配信した。

⑤在宅障害者「なかよし料理講習会」

在宅障害者の仲間づくり、ボランティアとの交流、社会参加の促進

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
総合福祉センター	全3回	全2回	1回
あイトピア	8名	8名	0名

⑥とよはし障害者青年学級

障害者の社会参加を促進するとともに、ボランティアとの交流を深める。

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
会員数 (障害者) (ボランティア)	91名 (68) (23)	0 (0) (0)	91 (68) (23)
実施状況	年6回 延べ446名	中止	6回 446名

(5)校区社会福祉協議会の育成指導

住民主体による地域福祉の増進のために、市内の10小学校区に校区社会福祉協議会を設置し、地域の特性、ニーズに応じた地域福祉活動を展開した。

松葉校区社会福祉協議会、新川校区社会福祉協議会、大村校区社会福祉協議会
下地校区社会福祉協議会、高師校区社会福祉協議会、八町校区社会福祉協議会
吉田方校区社会福祉協議会、旭校区社会福祉協議会、幸校区社会福祉協議会
芦原校区社会福祉協議会

(6)施設の管理及び運営

地域における福祉活動の拠点施設を管理、運営することにより、地域福祉増進のための各種活動を展開するとともに、高齢者等に必要な福祉情報やサービスを提供した。

①利用の状況

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
総合福祉センター あいトピア (指定管理)	開設 308日 延べ利用回数 5,324回 延べ利用者 45,812名	開設 308日 延べ利用回数 4,956回 延べ利用者 39,905名	0日 368回 5,907名
八町地域福祉 センター (指定管理)	開設 308日 延べ利用回数 2,064回 延べ利用者 17,766名	開設 308日 延べ利用回数 1,971回 延べ利用者 18,506名	0日 93回 △740名
大清水地域福祉 センター (指定管理)	開設 308日 延べ利用回数 3,563回 延べ利用者 27,032名	開設 308日 延べ利用回数 2,246回 延べ利用者 18,275名	0日 1,317回 8,757名
牟呂地域福祉 センター (指定管理)	開設 308日 延べ利用回数 2,632回 延べ利用者 25,913名	開設 308日 延べ利用回数 2,499回 延べ利用者 23,953名	0日 133回 1,960名
つつじが丘地域 福祉センター	開設 308日 延べ利用回数 2,999回 延べ利用者 39,273名	開設 310日 延べ利用回数 2,961回 延べ利用者 32,841名	△2日 38回 6,432名
東部老人会館	開設 294日 延べ利用者 4,071名	開設 294日 延べ利用者 3,982名	0日 89名

- ②『福祉センター見学と福祉のお話』～福祉センターをより知ってもらう～の開催
福祉センターの指定管理者として、市民に対し、福祉センターをより知ってもらうことを目的に実施した。

期 日	会 場	参加者
令和4年10月13日(木) 午前9時30分～午前10時30分	総合福祉センターあイトピア	41名
令和4年10月14日(金) 午前11時00分～午後0時00分	総合福祉センターあイトピア	40名
令和4年10月26日(水) 午後1時30分～午後3時30分	つつじが丘地域福祉センター	43名
令和4年10月28日(金) 午後1時30分～午後3時30分	つつじが丘地域福祉センター	43名
令和4年11月1日(火) 午後1時30分～午後3時30分	つつじが丘地域福祉センター	43名

- ③『防災ミニ講座』の開催

市民に対し、福祉センターの防災設備の説明や避難経路の確認等を行い、防災に関する理解と関心を深めることを目的に実施した。

期 日	会 場	参加者
令和4年9月30日(金) 午後1時30分～午後2時00分	総合福祉センターあイトピア	28名
令和4年9月27日(火) 午前10時45分～午前11時45分	牟呂地域福祉センター	12名

- ④『学習室』の開催

総合福祉センターあイトピア周辺に通う学生・生徒・児童を対象に学習室として利用してもらうことを目的に実施した。

- ⑤『あイトピア交流会イベント』の開催

令和5年度に総合福祉センターあイトピアが創立20周年を迎えるにあたり、ミニゲームやミニコンサート等を通して、参加者同士が交流することを目的に実施した。

期 日	会 場	参加者
令和5年2月8日(水) 午前11時00分～午前11時55分	総合福祉センターあイトピア	28名

⑥地域防災セミナー『大地震が起きたらどうする？～つつじが丘校区の災害リスクを考える～』の開催

つつじが丘校区の災害リスクを知り、自分が災害にあった場合にどのように行動するべきかを考えるきっかけとなるセミナーを実施した。

期 日	会 場	参加者
令和4年6月18日（土） 午前10時00分～午前11時30分	つつじが丘地域福祉センター	38名

⑦学童セミナー『～みんなで作って遊ぼう！工作講座～』の開催

工作作りやゲーム参加を通して、交流を深めることを目的に実施した。

期 日	会 場	参加者
令和4年7月28日（木） 午前10時00分～午前12時00分	つつじが丘地域福祉センター	20名
令和4年8月19日（金） 午前10時00分～午前12時00分	つつじが丘地域福祉センター	20名

⑧和太鼓セミナー『音楽で楽しむ夏～和太鼓で夏を感じる～』の開催

夏の時期を感じられるような力強い演奏を聴き、コロナ渦の中でも会館内外を元気づけることを目的に実施した。

期 日	会 場	参加者
令和4年8月24日（水） 午前10時00分～午前11時00分	つつじが丘地域福祉センター	100名

⑨高齢者セミナー『新春 初笑い！つつじが丘寄席で今年1年福来たる』の開催

新春に落語を通して、地域の方が集い楽しむ場とすることで、活力ある地域づくりにつなげることを目的に実施した。

期 日	会 場	参加者
令和5年1月25日（水） 午前10時00分～午前11時00分	つつじが丘地域福祉センター	52名

(7)啓発及び広報活動

広報紙やポスター、パンフレット、インターネット、ソーシャルメディア等を活用して、本会事業の啓発に努めた。

①「とよはし社協だより」（本会広報紙、A4版8ページ）

年3回（6月1日、8月1日、3月1日）発行、全世帯配布、発行部数 120,000部

②「社協のあらまし（事業概要）」…2色刷、14ページ

③ホームページの運営

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
年間アクセス件数	21,086 (4/1～9/30) 6,603 (10/1～3/31)	41,876	△14,187
月平均件数	3,514 (4/1～9/30) 1,101 (10/1～3/31)	3,490	1,125
累 計	672,034 (4/1～9/30) 6,603 (10/1～3/31)	650,948	27,689

※令和4年10月よりホームページリニューアルし、カウンター数（累計）をリセット

1)豊橋市社会福祉協議会ホームページ

本会事業紹介や情報公開を目的としたホームページを運用した。

[ホームページアドレス <https://toyohashi-shakyo.or.jp/>]

2)LINEによる情報提供

ソーシャルメディア LINE の友だち登録を進め、市民への情報発信を行った。

- ・ボランティアセンター登録 1,720件
- ・ファミリーサポートセンター登録 418件
- ・つどいの広場登録 1,665件

④いきいきフェスタ 2022

市民の社会福祉への理解を深めることを目的に「命の尊さ・共に生きる」をテーマとし「市民福祉の日（8月22日）」の行事として実施した。コロナ禍の為、関連イベントは中止とし、記念講演会と東三河社会就労センター連絡協議会所属の社会福祉施設による授産製品の販売を実施した。

1)期 日 令和4年8月21日(日)

2)会 場 ライフポートとよはし

3)参加者 約200名

4)記念講演 講 師 笠井 信輔 氏 (フリーアナウンサー)

テーマ 「子育て、そして…がん アナウンサーパパ奮闘記」

⑤豊橋市社会福祉大会（豊橋市と共催）

社会福祉の第一線で活躍する関係者が一堂に会し、社会福祉事業功労者を顕彰した。

- 1) 豊橋市社会福祉活動顕彰（大章… 2，銀有功章… 3，銅有功章… 4，実行章… 4）
- 2) 豊橋市社会福祉協議会会長表彰（16名）
- 3) 豊橋市社会福祉協議会会長感謝（112名）
- 4) 中央共同募金会会長感謝（1個人・1団体）
- 5) 「福祉についての書道・ポスター作品コンクール」入賞者表彰（70名）

⑥「福祉についての書道・ポスター作品コンクール」の実施（応募総数…284点）

福祉への理解、関心を高めるため、市内の小・中学校の児童・生徒の作品を募集し、優秀作品については、展示会を行った。

- 1) 展示期間 令和4年8月23日（火）～9月11日（日）
- 2) 会 場 総合福祉センターあいトピア

(8)共同募金運動への協力

①共同募金運動（10月1日～3月31日）

「国民たすけあい」の精神を基調とし、国民各層の社会福祉に対する理解と関心を培うとともに、民間社会福祉事業の発展に寄与するために、多くの個人、団体、法人等の協力により、次のとおり成果を取めた。

- 1) 豊橋市共同募金委員会運営委員会（年2回、運営委員26名、監事2名）
- 2) 実 績

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
地域募金	11,021,151円	11,117,518円	△96,367円
法人・事業所募金	5,309,333円	5,382,000円	△72,667円
街頭募金	952,540円	373,141円	579,399円
学校募金	1,093,908円	1,366,523円	△272,615円
職域募金	1,194,664円	1,289,015円	△94,351円
篤志募金	1,659,494円	1,756,933円	△97,439円
県共募取扱分	152,808円	87,239円	65,569円
合 計	21,383,898円	21,372,369円	11,529円

②歳末たすけあい運動（12月1日～12月31日）

1)実績

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
地域募金	11,924,964円	12,119,636円	△194,672円
街頭募金	214,017円	322,288円	△108,271円
職域募金	214,813円	234,430円	△19,617円
篤志募金	1,301,435円	1,359,738円	△58,303円
県共募取扱分	43,300円	123,500円	△80,200円
小 計	13,698,529円	14,159,592円	△461,063円
災害等予備金	82,992円	1,961,449円	△1,878,457円
合 計	13,781,521円	16,121,041円	△2,339,520円

2)配分状況

歳末たすけあい義援金配分委員会において配分についての協議を行い、市内の要
 援護世帯等に対し、次のとおり配分を行った。

- ・歳末たすけあい義援金配分委員会（委員15名・年2回）
- ・配分実績

区 分	人 員	1人あたり額	配 分 額	
1 次 配 分	要援護世帯（単身世帯）	110人	4,000円	440,000円
	要援護世帯（複数世帯）	498人	3,000円	1,494,000円
	交通遺児世帯	0人	10,000円	0円
	通所施設（人員49人以下）	2,169人	2,000円	4,335,825円
	通所施設（人員50人以上）	4施設	100,000円	400,000円
	ひとり暮らし老人おせち料理（豊橋さなえ会）	未実施	社協ヘルパー派遣世帯	0円
	東三更生保護会	更生保護施設		60,000円
	父母の会クリスマス会	豊橋市肢体不自由児(者)父母の会		40,000円
	育成会クリスマス会	豊橋市手をつなぐ育成会		40,000円
	母子福祉会クリスマス会	豊橋市母子福祉会		40,000円
	障害者はたちのつどい	障害者成人式		347,858円
小 計			7,197,683円	
2 次 配 分	重度心身障害児	733人	5,000円	3,665,000円
	重度心身障害者	115人	5,000円	575,000円
	児童福祉施設退所予定者	8人	60,000円	480,000円
	三宝厚生館退所予定世帯	15人	10,000円	150,000円
	小 計			4,870,000円
災害見舞金	被災世帯（8世帯）		510,000円	
総 計			12,577,683円	

※通所施設（人員49人以下）で2,175円の返還金あり

※運動推進費 … 708,000円、災害等予備金 … 495,838円

③災害見舞金の支給（昭和59年～）

区 分		令和4年度	令和3年度	比 較
火 災	全焼	5件 300,000円	5件 300,000円	0件 0円
	半焼	3件 90,000円	3件 90,000円	0件 0円
風水害	全壊	0件 0円	0件 0円	0件 0円
	半壊	0件 0円	0件 0円	0件 0円
死 亡	生計維持者	0件 0円	1件 100,000円	△1件 △100,000円
	上記以外	2件 120,000円	1件 60,000円	1件 60,000円
合 計		10件 510,000円	10件 550,000円	0件 △40,000円

④「第74回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール」の実施（応募総数…1,818点）

児童生徒の社会福祉に対する理解をより深め、「たすけあい」の心を育成するために実施し、優秀作品については、展示会を行った。

年4回／アピタ向山店、総合福祉センターあいトピア、つつじが丘地域福祉センター、大清水地域福祉センター

(9) 諸団体への助成

地域福祉の増進のために、諸団体の活動費並びに諸行事に対し助成を行った。

分 類	団 体 名
児 童 福 祉 事 業	豊 橋 保 育 協 会
	豊 橋 市 幼 稚 園 協 会
	民 間 保 育 所
高 齢 者 福 祉 事 業	豊 橋 市 老 人 ク ラ ブ 連 合 会
障 害 者 福 祉 事 業	豊 橋 市 特 別 支 援 教 育 研 究 協 議 会
	豊 橋 市 肢 体 不 自 由 児 (者) 父 母 の 会
	豊 橋 精 神 障 害 者 地 域 家 族 会
	豊 橋 身 体 障 害 者 協 会
	豊 橋 身 体 障 害 者 (児) 福 祉 団 体 連 合 会
	豊 橋 市 聴 覚 障 害 者 協 会
	愛 友 会
地 域 福 祉 活 動	豊 橋 市 民 生 委 員 児 童 委 員 協 議 会
	モ デ ル 民 協
	校 区 社 会 福 祉 協 議 会
	豊 橋 市 自 治 連 合 会
	豊 橋 人 権 擁 護 委 員 協 議 会 豊 橋 地 区 委 員 会
福 祉 教 育	社 会 福 祉 協 力 校 (研 究 校)
ボ ラ ン テ ィ ア グ ル ー プ	豊 橋 さ な え 会
	ボ ラ ン テ ィ ア グ ル ー プ
遺 族 会	豊 橋 市 遺 族 連 合 会
更 生 保 護 事 業	豊 橋 保 護 区 保 護 司 会
	豊 橋 市 更 生 保 護 女 性 会

(10) 本会社会福祉事業等への寄付、寄贈

社会福祉協議会寄付金 令和4年度寄付金総額 2,418,237 円

区 分	令和4年度	令和3年度	比 較
つ り 銭 募 金	19件 148,933円	26件 163,081円	△7件 △14,148円
ボ ラ ン テ ィ ア 基 金	2件 12,100円	2件 30,621円	0件 △18,521円
福 祉 教 育 振 興 基 金	16件 2,240,375円	16件 644,559円	0件 1,595,816円
物 品 寄 付	2件 16,829円	1件 614,087円	1件 △597,258円

(11)会費制度

区分	種 別	口 数	単 価	収 納 額
特 別	商工会議所役員議員	229 口	1,200 円	274,800 円
	市 三 役 部 課 長	195 口	1,200 円	234,000 円
	農業委員・農地利用最適化推進委員	48 口	1,200 円	57,600 円
	教 育 委 員	4 口	1,200 円	4,800 円
	民生委員・児童委員	555 口	1,200 円	666,000 円
	一 般	4 口	1,200 円	4,800 円
	計	1,035 口	—	1,242,000 円
施 設	社会福祉施設等	119 口	2,000 円	238,000 円
	計	119 口	—	238,000 円
賛 助	社会福祉施設長等	121 口	600 円	72,600 円
	計	121 口	—	72,600 円
普 通	地 域（自治会）	6,740 口	200 円	1,348,181 円
	保 護 司 会	100 口	200 円	20,000 円
	更生保護女性会	50 口	200 円	10,000 円
	人権擁護委員	22 口	200 円	4,400 円
	施 設 職 員 等	1,803 口	200 円	360,600 円
	計	8,715 口	—	1,743,181 円
合 計		9,990 口	—	3,295,781 円

※普通会員の地域（自治会）分については、15自治会会員をもって1口とする。

※単価は依頼額。収納額は実績に基づき端数あり。

豊橋市社会福祉協議会定款第38条1項に規定する「事業報告の附属明細書」については、社会福祉法施行規則第2条の25第3項による「事業報告の内容を補足する重要な事項」の該当が無いため、作成無し。

令和5年5月

社会福祉法人 豊橋市社会福祉協議会

